

レジメン名

BDR

出典

PMID: 24004667
Blood.2017;129(4):456-459
PMID: 20652865

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

原発性マクログロブリン血症

☒進行・再発☐補助療法(術前・術後)☐初発☐

投与減量の基準

その他	毒性を考慮して、ボルテゾミブは1.3→1.0→0.7 mg/m ² ※2に減らすことができる		

投与中止の基準

ANC	750/mm ³ 以下	PLT	5万/mm ³ 以下
AST	120IU/L以上	ALT	135IU/L以上
T-bil	2.4mg/dL以上	Gcr	30mL/min以下
その他	Grade2以上の神経障害、コントロール不良の心血管疾患、精神疾患、心臓アミロイドーシス		

1クール期間

1クール目:21日

2-5クール目:35日

総クール数

5クール

(次のクールまでの標準期間)

※リツキシマブは計8回

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
1クール目				
ボルテゾミブ	1.3mg/m ²	NS適量	皮下注射※2	d1、4、8、11
2・5クール目				
ボルテゾミブ	1.3mg/m ² ※2	NS適量	皮下注射※2	d1、8、15、22
リツキシマブ	375mg/m ²	輸液 1-4mg/mLに 希釈	初回は 50mg/hr から漸増※1	d1、8、15、22
デキサメタゾン(デキサート)	39.6mg/body	前投薬に混合	15分	d1、8、15、22
※1 初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm ³ 未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。				
※2 文献では1.6mg/m ² 静注だが、医師と協議の上、添付文書に合わせ1.3mg/m ² 皮下注とした。				
3・4クール目				
ボルテゾミブ	1.3mg/m ² ※2	NS適量	皮下注射※2	d1、8、15、22

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
溶解液まで含む)

1クール目

day1、4、8、11

①ボルテゾミブ1.3mg/m²※2+生食適量(皮下注射※2)

2クール目、5クール目

day1、8、15、22

①アセリオ(1000)500mg+ボララミン5mg+デキサート39.6mg(15-30min)

②リツキシマブ375mg/m²+生食適量
(50mg/hrから漸増※1)

③生食50mL(フラッシュ用)

④ボルテゾミブ1.3mg/m²※2+生食適量(皮下注射※2)

3クール目、4クール目

day1、8、15、22

①ボルテゾミブ1.3mg/m²※2+生食適量(皮下注射※2)